

# 2022年3月期 決算補足説明資料

2022年5月17日

株式会社エーアイ

証券コード：4388

声を便利に、声を楽しく。



1. 企業概要

2. 2022年3月期 決算概要

3. 2023年3月期 事業方針

# 会社概要

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 吉田 大介
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西片一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	151,481,320円（資本準備金 121,280,000円）
市場	東京証券取引所グロース（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：51名 パート及び嘱託社員：16名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2022年3月末日現在）

# 企業理念・行動指針

## 企業理念

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

## MISSION

声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

## VISION

音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

## VALUE

音声技術のトップランナーで居続ける

- 人が幸せになる技術・サービスを提供する
- お客様と社員と共に未来をつくっていく
- 日々、一步一步丁寧に歩いていく

## 行動指針

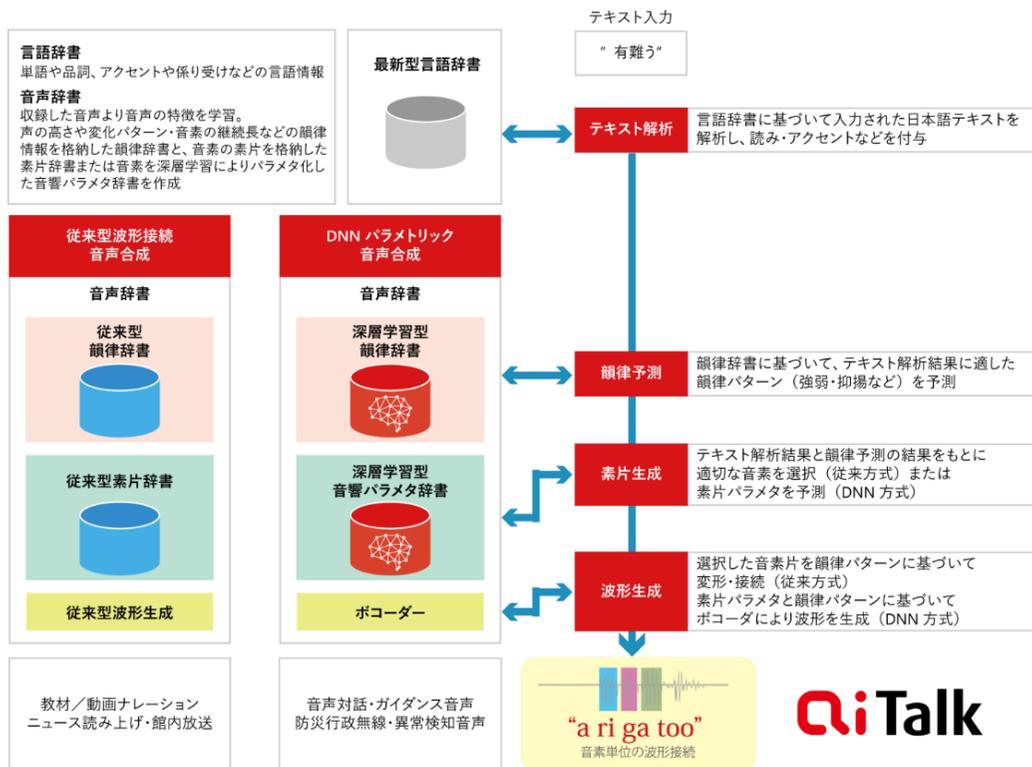
- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客様も社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。



# AITalk®とは

機械的な合成音ではなく、人間の肉声に近い自然な音声を実現した高品質音声合成エンジンです。

音声合成エンジン「AITalk®5」は、従来の「コーパスベース音声合成方式」と、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求めた高品質音声合成エンジンです。



# 選ばれる理由

## ①人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

## ②総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

## ③誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

# ビジネスモデル

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (売上の40~60%)	パッケージ販売	フロー型	・ AITalk® 声の職人® ・ AITalk® 声プラス® ・ AITalk International®
		ライセンス提供	ストック型	・ AITalk® SDK ・ AITalk® Server ・ micro AITalk®
		受託開発	フロー型	・ AITalk® Custom Voice®
	法人向けサービス (売上の20~30%)	クラウドサービス	ストック型	・ AITalk® WebAPI ・ AITalk® Web読み職人® ・ AITalk® 声の職人® クラウド版
サポートサービス		ストック型	・ 技術サポート	
コンシューマー向け製品 (売上の20~30%)		パッケージ販売	フロー型	・ かんたん！AITalk® ・ かんたん！アフレコ™ ・ AITalk® あなたの声® ・ VOICEROID®シリーズ ・ A.I.VOICE™ シリーズ

# 利用されている用途



音声対話



防災行政無線



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマホアプリ



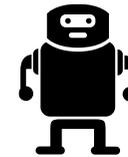
観光案内



施設案内



車内各種放送



ロボット



電話自動応答



WEBキャンペーン



WEBサービス



ゲーム



e-Learning教材



マニュアル



機器組込み



パッケージソフト組込み



ソフトOEM提供



自社サービス展開

# 導入・販売実績

導入実績数



**2000** 社

防災行政無線での  
導入自治体数



**786**  
市区町村

オリジナル音声辞書  
作成実績数



**370** 名

法人向け  
パッケージソフト  
累積販売数



**1700**  
ライセンス

コンシューマー向け  
パッケージソフト  
累積販売数



**10万**  
ライセンス以上

1. 企業概要
2. 2022年3月期 決算概要
3. 2023年3月期 事業方針

# 業績ハイライト

「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が当初令和2年度までとされていたことに伴い、防災案件が前期、前々期に集中したことによる反動と、大型受託案件の終了に伴う受託案件の縮小により、法人向け製品の売上が大幅に減少。

法人向けサービス、コンシューマー向け製品は計画値通り推移。全体としては、売上、利益ともに減収減益となった。

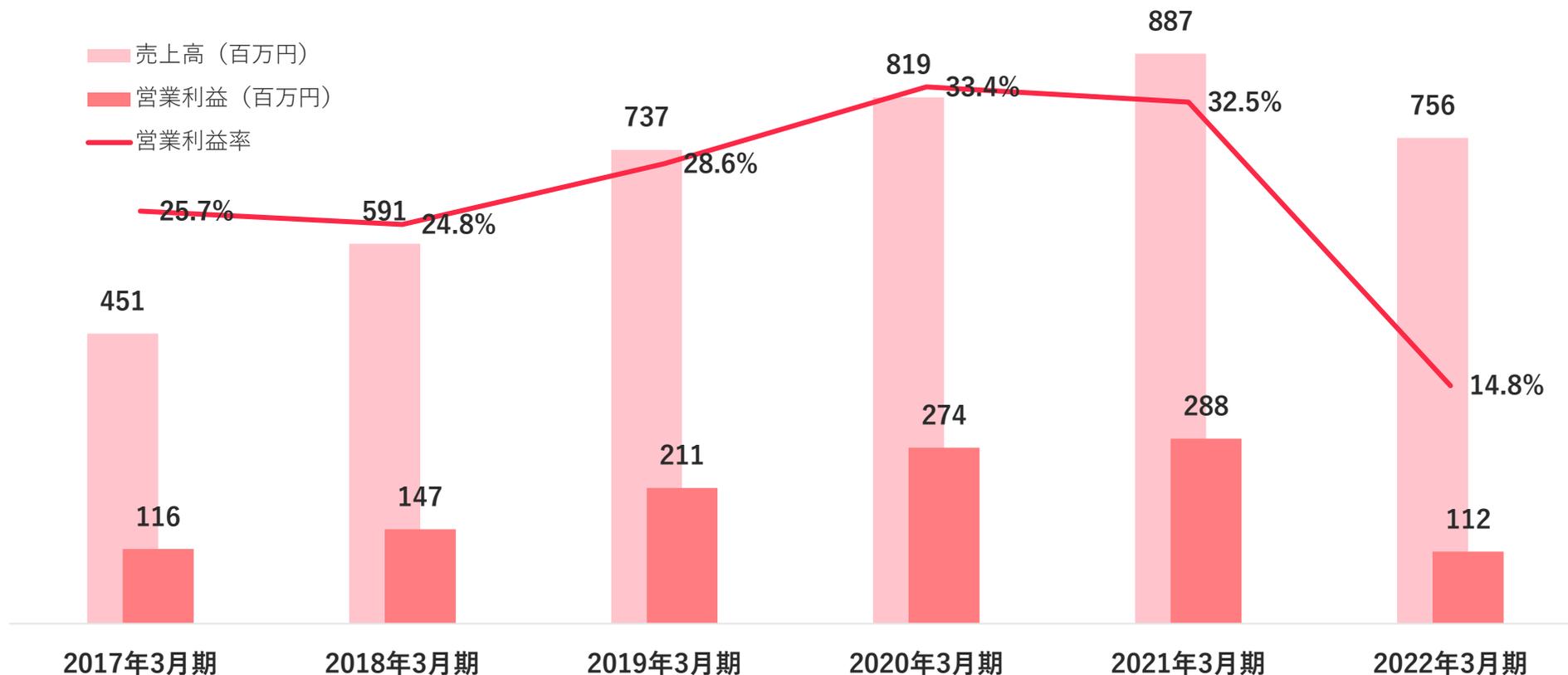
(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
売上高	887	756
営業利益	288	112
経常利益	288	109
当期純利益	215	83

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同期比増減率は記載しておりません

# 売上高と営業利益の推移

売上、利益ともに計画値を下回り、2022年3月期の営業利益率は14.8%。



# 分類別売上

## 【法人向け製品】

- ・「緊急防災・減災事業債」における地方交付税措置が、当初令和2年度までとされていたことに伴い、防災案件が前期、前々期に集中したことによる反動と、大型受託案件の終了に伴う受託案件の縮小により売上が大幅に減少。

## 【法人向けサービス】

- ・法人向けサービスは計画通り推移。

## 【コンシューマー向け製品】

- ・コンシューマー向け製品は計画通り推移。

(百万円)



(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
法人向け製品	538	60.6%	339	44.9%
法人向けサービス	225	25.4%	202	26.8%
コンシューマー向け製品	123	14.0%	213	28.3%
合計	887		756	



# 損益計算書の概要

法人向け製品売上の大幅な減少により、売上高は減少。

売上原価、販売管理費は計画値通り推移したものの、売上高の減少に伴い、減収減益となった。

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期	
	実績	構成比	実績	構成比
売上高	887	100.0%	756	100.0%
売上原価	142	16.0%	152	20.1%
売上総利益	745	84.0%	604	79.9%
販売管理費	457	51.5%	492	65.1%
営業利益	288	32.5%	112	14.8%
経常利益	288	32.5%	109	14.4%
当期純利益	215	24.2%	83	11.0%

※2022年3月期の期首より当事業年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した後の金額となっており、対前期比及び増減率は記載しておりません。

# 貸借対照表の概要

○売掛金が84百万円減少したものの、現金及び預金が78百万円、商品及び製品が4百万、流動資産のその他に含まれる未収消費税が5百万増加したことにより、資産合計が2百万円の増加。

○未払法人税等が33百万円、預り金が6百万、未払金が4百万円減少したこと等により、負債合計が44百万円減少。

○当期純利益の計上等により利益剰余金が83百万円増加したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が42百万円減少したことにより、純資産合計が47百万円の増加。

(百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比 増減額
流動資産	1,300	1,313	+13
固定資産	51	41	△10
有形固定資産	19	18	△1
無形固定資産	7	7	±0
投資その他の資産	24	15	△9
資産合計	1,352	1,354	+2

(百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比 増減額
流動負債	116	72	△44
固定負債	3	2	△1
負債合計	119	75	△44
純資産	1,232	1,279	+47
負債・純資産合計	1,352	1,354	+2

	2021年 3月期	2022年 3月期	前期比
自己資本比率	91.1%	94.4%	+ 3.3pt
自己資本当期純利益率	18.9%	6.7%	△12.2pt
総資産経常利益率	22.7%	8.1%	△14.6pt

# 配当方針

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2022年3月期につきましては、1株当たり配当金3円50銭と決定いたしました。

	年間配当金					配当金 総額	配当 性向	純資産 配当率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計			
2022年 3月期	-	0円	-	3.50円	3.50円	17百万円	21.1%	1.4%

# E S G への取り組み

## (S: 社会)

### ① 女性活躍の推進

- ・ 社員51名中、女性が27名 (52.0%)
- ・ 管理職12名中、女性が5名 (41.6%)

### ② 子育て支援の推進

- ・ 育児休業制度の活用 3名 (内、男性1名)

### ③ 働き方改革の推進

- ・ 所定労働時間の短縮 8時間から7.5時間へ
- ・ フレックスタイム制度の導入
- ・ 残業の少ない職場環境 月平均残業時間： 7.39 時間 (前期平均： 10.96時間)
- ・ 休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率： 81.1%
- ・ 在宅勤務制度の導入 在宅勤務対象者： 全社員の92.2%

## (G: ガバナンス)

### ① 株主・投資家との対話

- ・ 機関投資家向け説明会の開催 2回
- ・ 機関投資家との1on1ミーティング 13回

1. 企業概要
2. 2022年3月期 決算概要
3. 2023年3月期 事業方針

# マーケットの状況

第1フェーズ：片方向の情報提供



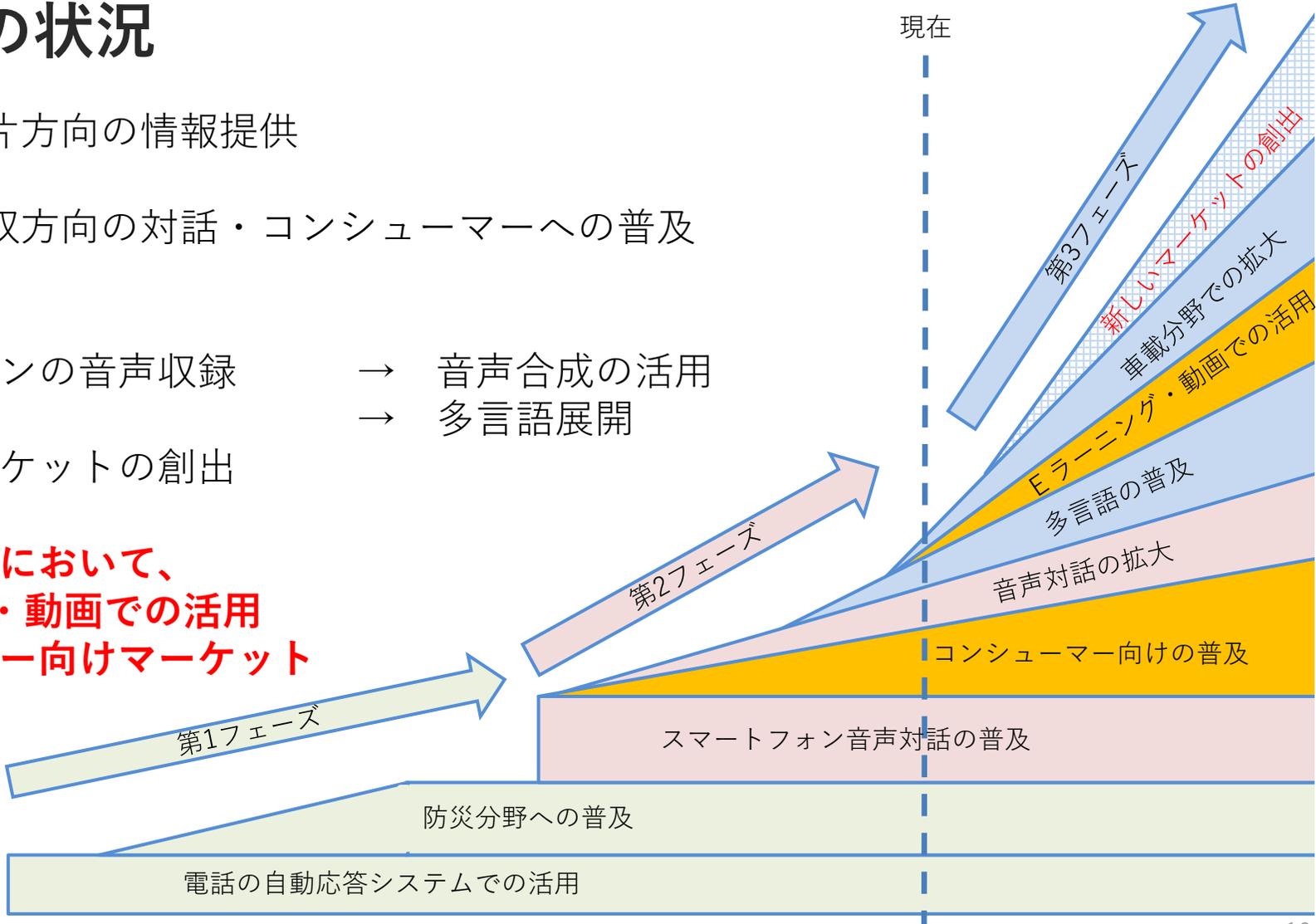
第2フェーズ：双方向の対話・コンシューマーへの普及



第3フェーズ：

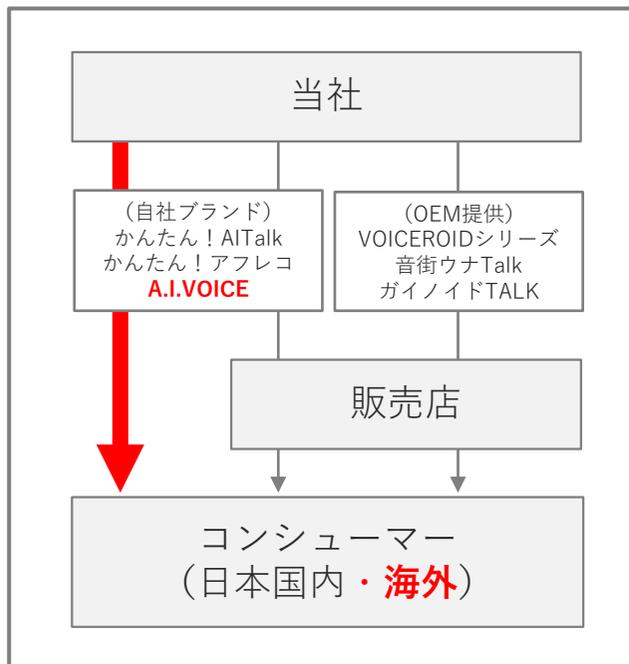
- ・ナレーションの音声収録 → 音声合成の活用
- ・日本語 → 多言語展開
- ・新しいマーケットの創出

**コロナ禍の状況において、  
・Eラーニング・動画での活用  
・コンシューマー向けマーケット  
が拡大。**



# 2023年3月期の主な取り組み

## ①オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE™」の拡大



自社ブランドの拡大、海外展開を進める。

### 2022年夏販売開始（予定）

- ・ 日本語音声合成パッケージ  
「A.I.VOICE Junior RIA（仮）」

### 2022年秋発売開始（予定）

- ・ 日本語音声合成パッケージ  
「A.I.VOICE Junior 来果」  
「A.I.VOICE Junior 青山龍星」

### 2023年春発売開始（予定）

- ・ 日本工学院専門学校クリエイターズ  
カレッジとのコラボキャラクター  
による「A.I.VOICE」

### 【海外展開】

#### 2022年6月開始（予定）

- ・ 中国向けプロモーション

#### 2022年夏販売開始（予定）

- ・ 中国語音声合成ソフト

### 【自社IP（琴葉茜・葵）の積極展開】

#### 2022年4月開始

- ・ 水間鉄道とのコラボレーション

#### 2022年4月配布開始

- ・ 琴葉茜・葵 NEUTRINOソングライブラリ

#### 2022年5月発売開始（予定）

- ・ エーアイ・ドワンゴ共同開発の

AIボイスチェンジャー「Seiren Voice 琴葉茜・葵」

#### 時期未定

- ・ ライブイベント開催

# 2023年3月期の主な取り組み

## ②eラーニング分野への展開

eラーニング教材、動画等のナレーション作成用途での「AITalk® 声の職人®」、  
「AITalk® 声プラス®」等のパッケージ製品拡販を目指す。

## ③次々世代エンジンの研究開発

**名古屋工業大学 徳田・南角・橋本研究室との共同研究（2021年4月～2024年3月（予定））**

（共同研究の概要）

- ・スタイルタグによる制御可能な非タスク指向型対話音声合成に関する研究を実施中。
- ・目的に応じた制御性を考慮した、より人の発話に近い対話システムを実現するための音声合成の開発を行う。

# 2023年3月期の主な取り組み

## ④車載分野の取組み

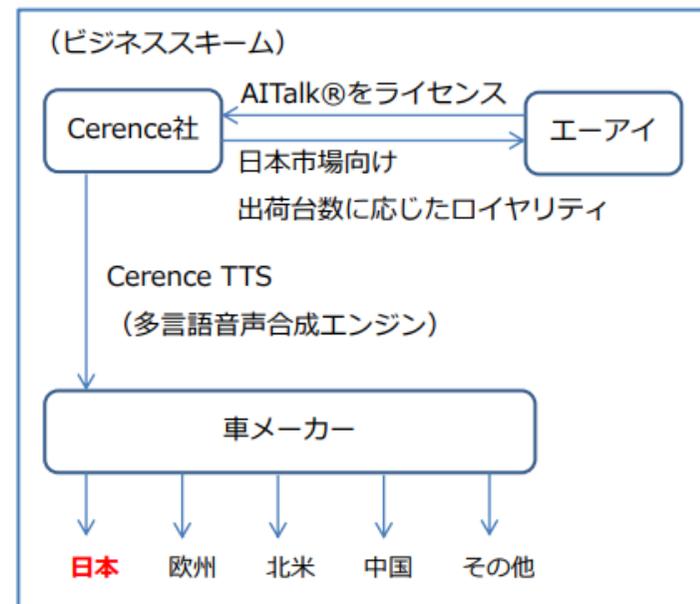
- ・ Cerence社との協業（車載分野）を加速

2019年11月21日 Cerence社とのライセンス契約を締結。

2020年6月1日より「AITalk®」が組み込まれた

「Cerence TTS」がCerence社より提供開始。

「Cerence TTS」の販売協力を加速。



# 2023年3月期 業績予想

売上については、ウィズコロナの下、徐々に経済活動が再開されていく反面、厳しい状況が継続すると考えているものの、法人向け製品においては、主力製品「AITalk 声の職人」「AITalk 声プラス」の拡販、コンシューマー向け製品においては、「A.I.VOICE」の新キャラクター版や中国語版の開発、販売に注力することにより、増収増益を見込む。

(百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		増減額	
	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期	第2四半期 累計	通期
売上高	329	<b>756</b>	383	<b>800</b>	+ 54	<b>+ 44</b>
営業利益	43	<b>112</b>	51	<b>140</b>	+ 8	<b>+ 28</b>
経常利益	40	<b>109</b>	51	<b>140</b>	+ 11	<b>+ 31</b>
純利益	30	<b>83</b>	36	<b>100</b>	+ 6	<b>+ 17</b>

# 2023年3月期 分類別業績予想

## 【法人向け製品】

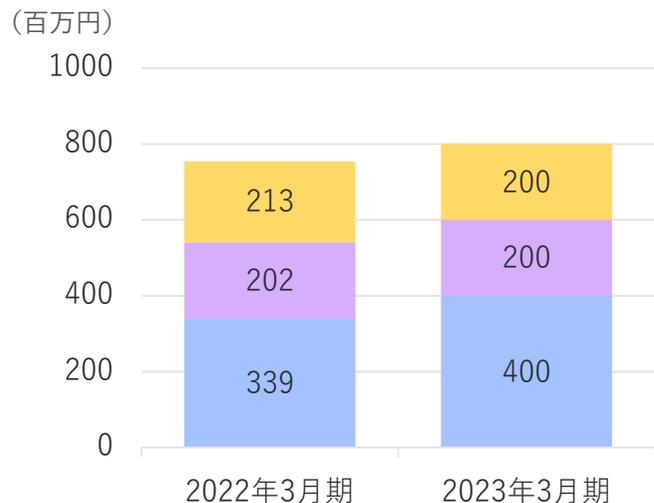
前期は防災案件・受託案件での落ち込みがあったが、今期は引き続き需要の拡大しているEラーニング・動画へのナレーション用としてのパッケージ製品及び受託案件の受注回復も見込まれることから売上増を見込む。

## 【法人向けサービス】

前期並みを予想。

## 【コンシューマー向け製品】

今期は前期にはあった人気キャラクター（結月ゆかり・継星あかり）の製品リリースは予定していないが、販売の拡大を見込み、前期並みを予想。



(百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前期増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	339	44.8%	400	50.0%	+ 18.0%
法人向けサービス	202	26.7%	200	25.0%	△ 1.0%
コンシューマー向け製品	213	28.2%	200	25.0%	△ 6.1%
合計	756		800		+ 5.8%

# 配当予想

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。具体的には、配当性向20%程度を目処に、配当水準の向上に努めてまいります。

2023年3月期につきましては、1株当たり配当金4円00銭を予想しております。

	年間配当金					配当金 総額	配当 性向	純資産 配当率
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計			
2023年 3月期	-	0円	-	4.00円	4.00円		20.2%	

# 代表取締役の異動に関して

## 新旧代表取締役の氏名および役職名

	氏名	新役職	旧役職
退任	吉田 大介	取締役会長	代表取締役社長
新任	廣飯 伸一	代表取締役社長	取締役副社長

## 新任代表取締役の略歴

氏名 (生年月日)	略歴
廣飯 伸一 (1964年6月30日)	1989年4月 株式会社リクルート 入社 1998年5月 ベスコムシステムズ株式会社 入社 1999年6月 同社取締役 就任 2001年6月 同社代表取締役 就任 2001年11月 合併によりアイティーマネージ株式会社取締役副社長 就任 2002年4月 株式会社シグナルベース取締役副社長 就任 2004年6月 当社取締役 就任(現任) 2015年1月 当社ビジネスソリューショングループ統括 就任 2019年6月 当社副社長 就任(現任)
所有する当社の株式数	880,000株

## 就任予定日

2022年6月22日

※同日開催予定の定時株主総会および  
終了後の取締役会の承認を経て正式に就任予定

# 将来見通しに関する注意事項

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。